



エンディングノート ③

～書いてみようエンディングノート～

今回は、実際にエンディングノートの作成をされた山本都久子さんに、お話を伺ってきました。

山本さんは、エンディングノートを知ったことをきっかけに「物は試しに」と作成されたそうです。「最初は必要なことは記憶しているからと深く考えないでいたところ、主人がけがをしたとき慌ててしまい、覚えているようでも記録に留めておくことの大切さを痛感してから、エンディングノートに向き合うようになった」とおっしゃっていました。

「あらためてエンディングノートを作成してみると、自分の生き立ちや、子どもや孫たちに伝えておきたいことなどを思い出したり、曖昧にしておいたことが明らかになったりするなど、自分の考えをまとめることができ本当に良かった」と話してくださいました。また、病名や余命の告知など、普段深く考えないことを考える良いきっかけにもなったそうです。エンディングノートを終末期のことだけで捉えるのではなくて、生きた証として活用して欲しいとの言葉が印象に残りました。

山本さんの話を聞いてみて、これからの夢や生き方などもエンディングノートに書いてみるのも良いと感じました。みなさんも、気負わず、構えず、家族に宛てる手紙を書く感覚で、エンディングノートを作成されてみてはいかがでしょうか？

次回からは、高梁市の在宅医療について、高梁市在宅医療連携拠点事業推進協議会会長の仲田永造先生にお話を伺ってきます。

文責 インタビュー
おかげさまで 岡崎 幸友准教授 (吉備国際大学社会福祉学科)
かめやま ちひろ 亀山 千裕さん (吉備国際大学社会福祉学科 3年)
まつもと だい 松本 大さん (吉備国際大学社会福祉学科 2年)



☎ 保険課連携推進係 ☎21-0304

功績をたたえて

自動車関係功労者 国土交通大臣表彰



(出)岡山県自動車整備振興会理事
小見山モーターズ代表取締役
小見山 豊さん (68歳・旭町)

岡山県自動車整備振興会理事、県自動車整備政治連盟理事、県自動車整備商工組合理事、県自動車整備振興会高梁支部長、カーポートピア車検センター代表理事を務め、点検整備の重要性をアピールするとともに、整備業界の経営基盤の確立と改善に尽力されています。

厚生労働統計功労者 厚生労働大臣表彰



備北信用金庫 (正宗町)
平成26年1月から27年6月まで実施された、毎月勤労統計調査に協力し、調査報告の適正さと調査への理解協力が良好であり、統計調査の発展のために尽力されました。
※毎月勤労調査とは、賃金や労働時間、雇用の変動を明らかにすることを目的として厚生労働省が実施しているもので、調査結果は景気判断や各種政策決定に際しての指針とされます。

Information - イベント・スポーツ情報

平成27年度教育講演会

入場無料

～希望して、納得して、満足していきるために～

日時 平成28年1月23日(土) 午後1時30分開演(午後1時開場)～午後3時
場所 高梁市文化交流館(3階中ホール)
講師 高梁市国民健康保険成羽病院 紙谷晋吾院長

☎ 高梁中央公民館・高梁地域まちづくり推進委員会(文化交流館内) ☎21-0180



紙谷晋吾院長

婚活マジックパーティー

日時 平成28年1月31日(日)
第1部 13:00～15:00
第2部 16:00～18:00

場所 MAGIC BAR 手品屋 岡山店 (岡山市北区本町)

募集期限 平成28年1月14日(木)

申込先 『婚活・マジックパーティー』事務局 (フィオーレ岡山店) ☎086-232-5058

☎ 定住対策課 21-0282

対象年齢 第1部 男性36～45歳、女性25～45歳
第2部 男性25～35歳、女性25～45歳
対象者 参加対象年齢で独身の男女とも居住地制限はありません。
参加費 男性3000円・女性2000円
マジックショーとフリードリンク・軽食付/アルコールの提供があります。
募集定員 各部とも男女各12人
定員を超える場合は抽選で決定します。

第35回備北地区バスケットボール大会

日時 平成28年1月31日(日) 午前8時30分開会
場所 高梁市民体育館 対象 高梁市・新見市・総社市に在勤・在住の高校生以上のチーム
部門 男子、女子 参加費 5000円(高校生3000円)
申し込み 平成28年1月8日(金)までに事務局へ
事務局 高梁市バスケットボール協会・武南さん ☎090-3749-5864

協力隊がゆく

こんにちは！ 9月1日から、地域おこし協力隊として松原町で活動している鎌田英一です。
11月末の山間部は落葉のまっさかり。先日も道路掃除をしましたが、掃いても掃いてもきりがありません。自然と共存する大変さを身をもって体感しています。

毎日です。高梁市に来て3カ月たちました。秋は行楽シーズンということで、運動会やグラウンドゴルフ大会、渡り拍子など地域行事に参加する機会が多くありました。「あなたがカマタさんね」と声をかけていただくことも増え、少しずつ町になじんでいることをうれしく思います。

さて、先日、地域の文化祭・菊花展の展示会場へお邪魔して、近所のご年配の方々とおしゃべりする機会がありました。「うちの地区にも遊びに来てよー」なんてうれ



鎌田隊員が藍染めを施した綿布。この後、ふんどしになります

しいお言葉をいただきました。その時、こんな心に落ちたものがありました。それは皆さんが笑顔になる場、子ども、お母さん、お年寄りも、みんな笑顔になれる場所です。私は大のおばあちゃん子だったので、ご年配の方の笑顔が、祖母の笑顔と重なったのでした。
そんな訳で一つ目標ができました。お借りしている住居を人の集まる場所として活用することで、菊花展での笑顔咲く団らんを我が家でも！ そんな思いで内装をあれこれ検討中です。春には門戸を開けるかな？

